

大正10年に設立以来、地域文化の根幹として、国内外で活躍する数多くの優れた美術家を輩出してきた。現在も道展・全道展の会員・会友が多数在籍しており、中央の美術団体の公募展での入選者を多数輩出している。戦時中に2年休会したものの、長年にわたり地方都市で活発な活動を行い、高い評価を得ている。

協会の活動としては、一般公募展を年1回開催するほか、翌年3月に会員・会友と一般受賞者による「春季展」を開催し、その際に隔年で会員会友から寄贈いただいた色紙を販売するチャリティーを行っている。また、学校へ美術を通じた支援活動を行うなど、地域貢献にも積極的に取り組んでいる。

◎受賞者の主な略歴

- T10 青空画会設立
- S 9 石川啄木歌碑建設資金造成後援
- S 27 釧路市文化功労団体表彰
- S 31 第2回釧路市文化賞受賞
- S 34 釧路美術協会に改名
- H 1 道立文化施設を誘致する期成会基金「チャリティー作品展」開催
- H 4 道立美術館誘致「チャリティー色紙画展」開催（文化団体と共催）
- H 9 道立白糠養護学校内小品展開催
- H10 第80回釧美展記念事業「北に生きる」開催
- H11 北海道釧路工業高等学校創立60周年記念事業協力
- H27 北海道文化団体協議会賞受賞
- H28 「釧路市小中学校芸術文化活動支援事業」協力開始

